

今昔物語

その69

旧紀宝町旧庁舎

成川地区



今回は、昭和35年ごろに撮影された旧紀宝町旧庁舎の写真をご紹介いたします。

旧紀宝町は昭和29年の合併後、仮庁舎を鮎田の牛鼻神社南側の旧御船村役場に設置していましたが、昭和31年11月に写真からも分かるとおり、成川地区に木造2階建ての庁舎を新たに建設しました。

その後、昭和43年7月、地方事務の増加により事務室が手狭となったことや、国道42号（現在の県道35号）の改修などに伴い、現在の就業改善センターの道向かいに、鉄筋コンクリート造り4階建ての新庁舎が建設されました。

そして、平成18年1月、旧紀宝町と旧鵜殿村の町村合併により、鵜殿地区にある旧鵜殿村役場が新紀宝町の役場庁舎となり、現在に至っています。

なお、旧紀宝町の新庁舎は平成30年3月に解体され、その跡地は現在、成川小学校の駐車場として活用されています。

— 昔の風景写真を募集します —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集しています。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限り、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

ひょうたん屋

広報きほう6年生

広報担当も気づけば6年生。ランドセルは背負っていませんが、気分はすっかり「最上級生」です。

さて、今年も町内の保育所や幼稚園、小中学校で入学式などが開催され、22ページのまちのわだいでもその様子をお届けしています。新しい制服や少し大きめのかばんに身を包み、緊張と期待が入り混じった表情の子どもたちの姿がとても印象的でした。式を見守る保護者や先生方の温かなまなざしからも、新たな門出を祝う気持ちが伝わってきました。

自分にもそのような時期があったなと思い、昔の写真を引っ張り出してみたのですが、今とは体型がずいぶん違ってびっくり。どうやら成長したのは経験だけではなかったようです（笑）。

（昔の自分に二度見されそう 田中 健太郎）

春の訪れを告げる合図

少しずつ暖かくなり、衣替えをされた方も多いのではないのでしょうか。

我が家ではペットの柴犬が換毛期を迎え、毛が大量に抜けています。柴犬は基本的に年2回、春と秋に換毛期が訪れ、現在春の換毛期を迎えているところです。特に春は、冬毛から夏毛へと入れ替わるため、ものすごい量の毛が抜けます。抜いても抜いても毛が抜けるので、「どこにこんなに生えていたんだ」と毎回驚かされています（笑）。また、家中に落ちていた毛を回収するために、転がすタイプの粘着テープを使っているのですが、あっとい間に毛だらけになってしまい、何度もテープをめくってはまた転がす、という作業の繰り返しです。大変ですが、我が家では春の訪れを告げる風物詩になっています。

（自分も髪の毛を切った 曾越 大成）

